

全校朝会 校長講話【11月26日】

「いのちと人権を考えよう!」

おはようございます。11月は「あいさつ月間」に、1年生から6年生全員で取り組んできました。今日の朝も、「あいさつ応援隊」の元気な声が聞こえてきて、とても気持ちがいいです。ありがとう。

さて、今日は、「いのちと人権を大切にする」、ということについてお話をします。とても大切な話なのでしっかり聞いてください。

みなさん一人一人には、たった一つの大切な「いのち」があります。みなさんのお家の人たち、そして、ここにいる先生たちは、みなさんのたった一つの大切な「いのち」が輝いてほしいと願って、みなさんのことを育てています。

学校で勉強を頑張っている姿。友達と一致団結して行事をやりとげようとしている姿。友達と楽しく遊んでいる姿。それらは、みんなの「いのち」が輝いている姿です。

では、みなさんが「いのち」を輝かせるためには、どんなことが必要でしょうか。それは、みなさんの心が、この「ハート」の顔のように、いつもニコニコしていて、元気でないといけません。

心がいつもニコニコしていて元気だと、学校での勉強も友達との生活も楽しくなって、「いのち」を輝かせることができます。

ところが、例えば、学校に来て、友達から悪口を言われる。いじわるをされる。友達から暴力を振るわれる。仲間外れにされる。もし、こんなことが学校に来て、あったらどうでしょう。安心して、気持ちよく過ごすことはできません。心配でしょうがありません。

つまり、友達の「人権」を大切にするというのは、自分の周りにはいる友達の心がいつもニコニコしていて元気でいられるように、「思いやりの気持ちもって友達と接すること」「自分がやられて嫌なことを友達にしないこと」です。

もし自分が友達から悪口を言われたら嫌な気持ちになると思います。ですから、友達には悪口を言わないようにします。もし、友達から仲間外れにされたら、悲しい気持ちになります。ですから、友達を仲間外れにしたりしません。

ぜひ、関台小の子供は、友達の「人権」を大切にする子になってほしいと思います。そこで、まずは、友達を傷つけるような「言葉遣い」をしていないか、考えてみてください。「バカ」「死ね」「ウザイ」「殺す」こんな相手を深く傷つけるような汚い言葉をつかっていませんか。絶対に使ってはいけません。

今度の土曜日から12月です。12月は、世界中で、日本中で、「いのちと人権」を考える月間です。それぞれのクラスで、担任の先生と一緒に、「いのちと人権」を大切にするということについて考えてみてください。

